



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 山戸 明仁 (TEL) 092-720-5460
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績 (平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	3,390	159.0	177	—	161	—	44	—
27年9月期第3四半期	1,309	62.3	△34	—	△35	—	△40	—

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 44百万円(—%) 27年9月期第3四半期 △40百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	6.45	—
27年9月期第3四半期	△6.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	3,016	1,204	39.7
27年9月期	2,882	1,162	40.0

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 1,196百万円 27年9月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 平成28年9月期の連結業績予想 (平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,280	80.4	215	147.1	200	159.7	100	222.6	14.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期3Q	6,973,470株	27年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	105,150株	27年9月期	104,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期3Q	6,868,645株	27年9月期3Q	6,544,922株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策を背景とし、企業収益や雇用環境の改善が見られる一方で、熊本地震の発生、中国をはじめとする新興国の景気減速、イギリスのEU離脱問題等による為替相場や株式相場の急激な変動など先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中長期的な更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,390,882千円（前年同四半期比159.0%増）となり、営業利益177,087千円（前年同四半期は営業損失34,168千円）、経常利益161,673千円（前年同四半期は経常損失35,040千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益44,322千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失40,664千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①コミュニケーション・セールス事業

コミュニケーション・セールス事業におきましては、「新規顧客の獲得」と「既存顧客の確保」の視点を軸に事業を進めてまいりました。当第3四半期会計期間においては、新たな顧客層の取り込みとリピート率の向上を図るための施策として、株式会社フェヴリナにおきまして、こんにやく酵素ゼリー『いちずな酵素』の販売を始めました。また、今後も季節に応じた新商品などを導入していく予定であり、積極的なマーケティング活動を行っております。これにより売上高1,304,481千円、セグメント利益92,271千円となりました。

②化粧品卸事業

前連結会計年度において、当社グループ入りした株式会社Cureが営む化粧品卸事業は、古くなった皮膚の角質を除去するための製品『ナチュラルアクアジェル Cure』及び岩塩を原料とする入浴剤『Cure バスタイム』の販売を行っており、市場でも高い評価を受け順調に売上を伸ばしております。これにより売上高512,188千円、セグメント利益203,413千円となりました。

③カラーコンタクトレンズ事業

前連結会計年度において、当社グループ入りしたクレイトン・ダイナミクス株式会社及び株式会社プランAが営むカラーコンタクトレンズ事業におきましては、取扱商品数の増加や取引先の増加等もあり順調に売上を伸ばしております。しかし、当第3四半期連結累計期間において一部の取引先に対する売掛金について貸倒引当金繰入額122,210千円を計上いたしました。これにより売上高1,574,747千円、セグメント損失92,607千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は3,016,320千円（前連結会計年度末2,882,345千円）、その内訳は流動資産2,212,900千円、固定資産803,419千円となり、前連結会計年度末に比べ133,975千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加268,625千円、売掛金の増加105,238千円、貸倒引当金の増加122,209千円、その他の流動資産の減少92,151千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は1,812,199千円（前連結会計年度末1,719,391千円）、その内訳は流動負債861,286千円、固定負債950,912千円となり、前連結会計年度末に比べ92,807千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加6,493千円、短期借入金の増加50,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加7,140千円、未払法人税等の増加55,799千円、長期借入金の減少58,311千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,204,120千円（前連結会計年度末1,162,953千円）となり、41,167千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益44,322千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年6月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	975,201	1,243,826
売掛金	589,169	694,407
商品及び製品	234,230	275,584
原材料及び貯蔵品	1,344	5,080
その他	208,405	116,254
貸倒引当金	△43	△122,253
流動資産合計	2,008,307	2,212,900
固定資産		
有形固定資産	22,476	28,712
無形固定資産		
のれん	312,231	268,879
顧客関連資産	437,423	411,692
その他	63,982	57,210
無形固定資産合計	813,636	737,782
投資その他の資産	37,923	36,925
固定資産合計	874,037	803,419
資産合計	2,882,345	3,016,320
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,804	172,297
短期借入金	240,000	290,000
1年内返済予定の長期借入金	128,548	135,688
未払法人税等	19,707	75,507
賞与引当金	11,201	5,700
返品調整引当金	1,583	985
株主優待引当金	11,698	-
その他	152,437	181,107
流動負債合計	730,980	861,286
固定負債		
長期借入金	970,906	912,595
資産除去債務	11,613	11,646
その他	5,891	26,670
固定負債合計	988,410	950,912
負債合計	1,719,391	1,812,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,109	348,109
利益剰余金	△49,141	△4,815
自己株式	△29,414	△29,656
株主資本合計	1,152,342	1,196,425
新株予約権	10,611	7,695
純資産合計	1,162,953	1,204,120
負債純資産合計	2,882,345	3,016,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,309,356	3,390,882
売上原価	318,355	1,811,560
売上総利益	991,001	1,579,322
返品調整引当金戻入額	1,268	1,583
返品調整引当金繰入額	759	985
差引売上総利益	991,510	1,579,919
販売費及び一般管理費	1,025,678	1,402,831
営業利益又は営業損失(△)	△34,168	177,087
営業外収益		
受取利息	128	140
為替差益	1,712	-
受取手数料	-	1,885
その他	876	1,953
営業外収益合計	2,717	3,978
営業外費用		
支払利息	3,290	14,189
その他	299	5,203
営業外費用合計	3,590	19,393
経常利益又は経常損失(△)	△35,040	161,673
特別利益		
新株予約権戻入益	-	2,916
特別利益合計	-	2,916
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△35,040	164,589
法人税、住民税及び事業税	3,274	91,802
法人税等調整額	2,348	28,465
法人税等合計	5,623	120,267
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,664	44,322
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,664	44,322

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,664	44,322
四半期包括利益	△40,664	44,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,664	44,322
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	カラーコンタク トレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,304,481	511,653	1,574,747	3,390,882	—	3,390,882
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	534	—	534	△534	—
計	1,304,481	512,188	1,574,747	3,391,417	△534	3,390,882
セグメント利益又は損失 (△)	92,271	203,413	△92,607	203,077	△25,989	177,087

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,077
全社収益 (注) 1	119,300
全社費用 (注) 2	△148,127
その他の調整額	2,838
四半期連結損益計算書の営業利益	177,087

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結累計期間においては、「コミュニケーション・セールズ事業」の単一セグメントでありましたが、新規の子会社である株式会社Cureが平成27年7月1日付で事業を譲り受けたことに伴い、「化粧品卸事業」を報告セグメントに追加し、さらに平成27年8月1日付でクレイトン・ダイナミクス株式会社を株式交換により連結子会社としたことから「カラーコンタクトレンズ事業」を報告セグメントに追加しました。これにより、前連結会計年度より、当社グループの報告セグメントは、「コミュニケーション・セールズ事業」、「化粧品卸事業」及び「カラーコンタクトレンズ事業」の3つの報告セグメントとなりました。